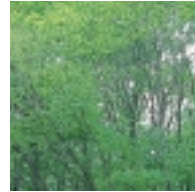


こうふ町 議会だより

町勢
世帯数／1,147世帯
人口／3,644人
(平成20年7月1日現在)

町の木



ぶな

町の花



あやめ



森と水の学校 (鏡ヶ成周辺)

6月定例会	2 P
いっぱん質問 町政を問う	4 P
議会だよりの表紙写真を募集します	7 P
私もひと言	8 P



6月定例会

一般会計

補正後

30億989万円に (7,889万円追加)

特別会計 16会計

補正後

17億7,830万円に (7,242万円追加)



超音波診断装置

・江尾診療所
医療機器超音波診断装置購入契約締結について
診療所の医療機器を新しくする為業者の指名競争入札が行われ次のとおり決まりました。
契約金額 945万円
契約の相手方 米子市旗ヶ崎
鳥取医療器(株) 米子営業所

(その他主なもの)



ゲレンデ整備に活躍する圧雪車

・辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

①奥大山スキー場のゲレンデ整備機械導入を図る。
事業費 4042万円
(内辺地対策事業債 4040万円)

奥大山スキー場は近隣のスキー場との競争も激しくなっており特にゲレンデコンディションへの要求も高まっていると共に、安全面からも十分整備が必要である。
この為ゲレンデ整備に必要な機器の整備、導入を図る。(圧雪車、乗用芝刈機)



水工場ヨードル館

②水工場ヨードル設備改良事業
事業費 2503万円
(内 2503万円は辺地対策事業債)
平成5年からミネラルウォーターを生産している水工場の生産ラインが経年使用により老朽化している。
この為故障が頻繁に発生し、衛生管理への不安、また維持費の増大が続いており、生産ラインの更新及び改良が必要である。

新しく制定された条例

平成20年6月定例会は、6月12日に招集され、会期を6月18日までの7日間と定めて開かれました。
今議会には条例の制定が1件、一部改正が7件、平成20年度予算関係が7件、追加提出議案1件などが上程されました。
これについて慎重に審議した結果、いずれも原案どおり可決された。

・江府町ふるさと応援基金条例の制定について
この条例は江府町に対し貢献、応援しようとする個人・法人及び団体からの寄附を財源として元気で明るい輝きのあるまちづくりに資することを目的とする。

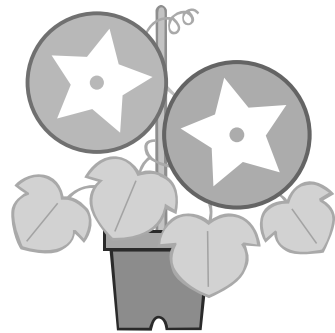
- 寄附金を財源として行う事業は
1. 自然保護の保全と活用
 2. 子育て支援及び教育環境の充実
 3. スポーツ、文化の振興
 4. 医療・福祉の充実
 5. 活力あるまちづくりの推進

条例改正の主なもの

・江府町税条例の一部を改正する条例について
(平成20年4月30日専決処分)
地方税法等の一部を改正する法律が施行されたことに準拠し、寄附金控除が所得控除から税額控除に変更、住民税における65歳以上の方の公的年金からの特別徴収制度の導入等改正するもの。

・江府町国民健康保険条例の一部を改正する条例について
(平成20年5月31日専決処分)
後期高齢者医療制度の導入により最高限度額を変更するもので、保険税医療費分については、56万円を47万円に引き下げ、保険税介護分については、9万円の据え置き、新規に後期高齢者支援金等12万円とし、合計課税限度額を65万円から68万円改正するもの。
・江府町手数料徴収条例の一部を改正する条例について

(平成20年4月30日専決処分)
戸籍法の一部を改正する法律が施行されたことに準拠し、第三者請求を明記し条文を改正するもの。
・江府町非常勤消防団員にかかる退職報奨金の支給に関する一部改正について
消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律の改正により、消防団員退職報奨金の掛金の対象者を限定するよう改正するもの。



あなたも
議会を傍聴して
見ませんか

詳しくは

議会事務局へ

電話番号

75-3307

一般質問



問	住民に夢と希望を持たせる政策は
答	総合計画を基本理念として取組む

分権時代のまちづくりは 小学校統合後の校舎は

日野尾 優

りを持っていただけの町がつくれればという思いです。

質問 地方分権による「住民参加、選択、創造」の時代を迎え、町行政全般にわたり、いかに自主自立「考えて行なう地方自治」を確立して、地域のまちづくりをするかが必要であります。7月は町長選挙ですが、任期中の政治活動をどのように評価されているか。国・地方を問わず財政は極めて憂慮すべき事態となつていますが、住民に夢と希望を持たせる政策などについて、町長の所見を伺う。

町長答弁 任期中は小さな町であつても元気で明るい輝きのある江府町にしたいという一つの目標を掲げ、より一層の財政健全化、産業基盤の確立、住民生活の環境整備、医療体制等々、水工場グリーンステージ、サントリー天然水(株)の企業誘致、介護老人保健施設あやめの建設の取組み等を実施した。住民に夢と希望を与える政策ですが、第4次総合計画を基本理念とし財政健全化を継続し、小学校の学習環境整備、健康、福祉、保険、医療各対策のより一層の連携、サントリー天然水(株)企業広報による江府町PRなり、資源を活用した協働の町づくり、子育て支援などに努力する。また、財政的にも見直し等を住民の皆さんに公表しながら江府町に本当に誇



利活用が計画される米沢小学校校舎

あり、住民に関心のある廃校後の校舎等利用について、江府町に本気で取り組む覚悟をもち、米沢、明倫、俣野、江尾の各小学校、米原分校、下蚊屋分校で、江尾小学校は耐震化を行い、統合により名称が決まり江府小学校の校舎です。その他の小学校におきましては借地の小学校と町有地のご提供をいただき現在で

問	廃校、旧校舎の活用は
答	利活用の年次別計画を策定する

いては、廃校舎活用検討プロジェクト(江府町小学校統合に伴う廃校舎検討会議)で学校統合後の校舎利用について検討されておりますが、進捗状況と町長の所見を伺う。

町長答弁

平成18年10月に職員によりプロジェクトとして廃校舎活用庁舎内検討委員会を立上げ、保護者説明会や住民説明会等の意見も参考にしながら、協議を重ね、平成19年秋におよそのまとめを受けました。行政内部で詰めなければなりません。米沢、明倫、俣野、江尾の各小学校、米原分校、下蚊屋分校で、江尾小学校は耐震化を行い、統合により名称が決まり江府小学校の校舎です。その他の小学校におきましては借地の小学校と町有地のご提供をいただき現在で

は町有地という学校があります。私自身は、どの学校ということではございませんが、来年3月で廃校になるわけですので、そこには歴史、文化という大きな財産が残っております。これをそれぞれの学校で保管していくのか、どこかの学校に一本にまとめて、江府町の小学校の歴史というものを、文化というものをきちんと保管、保全し、また、ふるさとにお帰りになった方が訪ねてみられる、施設もいろいろ考えます。また、補強等をした上でオープンにし、人や企業に使用を応募する方法等があります。またそれぞれ学校建設時に国の補助金や起債を充当した施設もあり、まだ償還が続いている課題もあります。これからは多くの皆さんのご意見等伺う機会を設け、財政との整合性等も含めて利活用の年次計画を策定したいと考えております。



サントリーと 職員の教育と人事管理は

田中 幹啓

問	このチャンスはどう活かすか
答	奥大山の魅力を活かし発展を

深い豊かさ悠久の時をかけて出来た自然の恵み、これこそが守り活かすべきものです。サントリーにはこの点十分な理解と対応を頂いています。

問	能力アップの 方策は
答	色々な方法 で実施

金を頂くことは考えていませんが、色々な方たちでサントリーには地元企業としてそれにふさわしい地元貢献を今後もお願いしたいと思っています。

質問 世界のサントリーの進出は外から大きな風が吹いたと捉え、中から情報を発信しこのチャンスを大きく活かすことが求められます。好感度NO・1のコマーシャルも流れ工場は製造が間に合わないほどの好況のようです。この様な中で、1本1円でも町にもたらえたらという思いもあります。今後工場の増設も想定し町としてどのような方策があるのか以下の点を伺う。

町長答弁 ①サントリー効果をこれからどのように町づくりに活かしていく考えか。②サントリーとは、今後どのような話し合いを持

つていく考えか。③水と歩む江府町のイメージを内外にどうアピールするか。④水と共生する町づくりのために子供から大人まで、どのような情報の提供を考えているのか。⑤水と健康について、また水の大切さについて、サントリーと共同で講演会を開催する考えはないか。

質問 ①町職員の能力開発と人材育成はどのように考えているのか。同時に役場の活性化についてはどのような考えか。②職員の人事と昇格の基準は、どのようにしているのか。基本的な考え方は。③能力アップのため、職員の試験制度の導入、論文提出を義務付けてはどうか。④日野郡3町の人事交流を江府町から提案する考えは。

町長答弁 単独町政を進め厳しい財政を乗り切る為に最も求められるのは職員の意識改革だと常に話してき



朝礼風景



第4次江府町総合計画と 子育て支援の 具体的施策と事業展開は

川上 富夫

問	深刻な少子化対策と 具体的な支援策は
答	次世代育成支援対 策協議会で協議

質問 福田町政の第3次総合計画をふまえて、竹内町政1期、平成18年9月に発表され、2年を経過しました。前期5ヶ年の基本構想、基本計画と具体的施策、事業の展開について示されたい。

現状の課題として、特に少子高齢化が深刻です。日本全国同じ悩みを持っているわけですが、少子化対策、特に子育てについて手厚い支援が必要と考えます。どの町村でも同じように行っているのが現状ですが、平成12年に6ヶ月乳児保育等施策はうち出されています。今年には各小学校の最後

の入学式です。米沢小3名・俣野小2名・明倫小5名・江尾小16名合計26名と、益々減少していきまます。0歳児から18歳高校卒業まで、江府町独自の経済支援策など対応について伺う。

平成21年4月の新学期から統合小学校に通学する児童の精神的負担も大きく、環境の変化に対して、いじめ、登校拒否、不登校などない様対応に

ついて伺う。最も深刻な行財政改革を今後どの様に推し進めていくか、町長に伺う。

町長答弁

第4次総合計画の前期5ヶ年計画と具体的な施策、事業展開について、国の政策として「三位一体」により、単独町を選択した江府町は、第4次総合計画をたて、「まちづくり推進委員会」で住民の意見を反映した具体的施策を掲げ、最重要課題である、財政運営の健全化に向けて事務・事業の見直しをはじめ、職員数及び職員・特別職員給与の削減、補助金の削減、民



通学風景

間委託の推進、また、町民の生活に関わる上・下水道料金の見直し等、かなり厳しい改革をいたしているところ

子育て支援対策について、次の2事業を実施したいと思えます。



保育園の給食風景

①6ヶ月児から中学校3年生までを対象に小児インフルエンザ予防接種の一部公費負担実施。

を配置し、子供たちの精神的ケアに努めていき、統合後2年間は対応することに決めています。

再度審判を仰ぐわけですが、持続可能な町づくりのための財政健全化、小学校統合、保険・医療・福祉の連携によりまして一人一人が本当に健康で笑顔の行き交う町になるよう一層努力し、奥大山という水と緑を活かし、住民の皆さんと一体となった協働のまちづくりを進めます。

②妊婦検診の充実を図るため、国は2回の公費負担を5回に拡充しますが、本町は2回追加し7回の実施を考えています。平成19年度から妊婦の皆さん、生まれた赤ちゃん、そういう人に奥大山の水を飲んで頂く様贈らせて頂いています。

小学校統合ということ

議員提出議案

最終日の18日議員発議により最低賃金の引き上げとさらなる制度改正を求める意見書が提出され原案どおり可決し、関係行政庁に意見書を提出しました。



採択としました

▽最低賃金の引き上げと制度のさらなる改正を求める陳情書
鳥取市西町三丁目一〇一

―二

鳥取県労働組合総連合議長 田中 暁

趣旨採択としました

▽ミニマムアクセス米の輸入停止を求める陳情
鳥取市河原町徳吉二三三五
農民運動鳥取県連合会 東田 久

不採択としました

▽永住外国人への地方参政権付与を日本政府に求める意見書を採択しない

よう求める陳情

島根県八束郡東出雲町春日八三二

政治結社

祖国防衛隊島根県本部 本部長 山口 寛

▽後期高齢者医療制度の廃止に関する陳情

米子市錦町二―四五

全日本年金者組合鳥取県西部支部

支部長 増田 修治

▽過剰な農薬取締法により、農業用有機資材を締め出す不法な行政指導の改善を求める意見書提出に関する陳情書

東京都江戸川区船堀一―四一〇―二〇一
合資会社 緑 源
社長 諸 百合子

◆議会だよりの表紙写真を募集します◆

10月下旬発行予定の議会だよりの表紙に掲載する写真を募集いたします。応募の詳細につきましては以下のとおりです。

【募集内容】

- ・募集写真のテーマは「楽（らく・たのしい）」です。町内でテーマに関連した風景、行事等を題材として下さい。
- ※1 写真は応募者本人が撮影し、被写体の承諾を得たものを応募して下さい。表紙に掲載した写真（画像）の著作権並びに被写体の持つ諸権利（特に肖像権）に関して、当委員会は一切の責任を負いかねます。
- ※2 掲載する写真については、必要に応じて切り抜き（トリミング）して利用することをご了承願います。

【応募方法】

- ・議会事務局までご応募下さい。（郵便での応募も受け付けます。応募の際には、必ず応募者の住所・氏名・電話番号をご記入のうえ、ご応募下さい）
- ・応募写真は返却いたしませんので、ご注意下さい。

【応募締切】

- ・平成20年9月30日（郵便については、締切当日の午後5時までに到着した分を有効とします）

【写真の選定方法】

- ・応募が多数の場合、議会広報調査特別委員会で決定します。

◎ご不明な点につきましては、議会事務局までお問い合わせ下さい。（TEL 75-3307）

第5回臨時会

平成20年7月1日に臨時会を開催しました。農業委員会委員の任期満了に伴う議会推薦の農業委員に、杉谷の末次輝夫さんを全会一致で推薦決定しました。

ひとこと



武庫 加持谷典範

科学の 進歩と不安

『人間の不安は、科学の発展から来る。進んで止まることを知らない科学は、かつて我々に止まることを許してくれたことがない。』

明治、大正を生きた先人の言葉である。今の世相を見詰めると、百年後を見事に喝破した識見である。

我が国は戦後、最適工業化社会、高度情報通信社会の創造の追求により快適で利便性に富む生活を実現することができた。

反面、科学の進歩は、我々にその代価も求めている。直

接には金であり、心や人間関係が損なわれるという負の作用である。

さて、四月一日より、後期高齢者医療制度が始まり、混乱している。

首相も、担当大臣も明快に説明し切れない現実、後追いの改善策が次々と出るといふ始末である。

人の命を救うための科学の進歩も著しい。高度な医療技術、最適の抗生物質などの薬剤の開発等々日々発展進化している。安全で安心して医療を享受できるための代価が、増加し続けるのは自明の理であろう。

しかし、その負担の在り方には十分な配慮を要する。自立した高齢者、自己責任を果たすといえば聞こえはよいが、個別の保険ということで、病に臥す妻や母の医療費を夫や子の保険で賄うことができないということには、大きな疑問がある。

この保険制度の設計そのものに、財政の都合を優先するあまり、夫婦、親子という最も基本的で重要な人間関係を分断する思想が見られ、健全な社会システムの改革にはつながらないと考えるからである。



杉谷 河上 春美

この頃ふと思う事

テニス愛好者としては、この頃とても気になる事があります。それは、小学校合併に伴い、ソフトテニスのスポーツ少年団が、設立される事となり、その説明会が開催されたにも関わらず、参加者は十人にも満たず（対象となる家庭は何世帯なのかは知りませんが）こんなことで設立になるのだろうか、とても不安を感じました。

テニス愛好者としては、この頃とても気になる事があります。それは、小学校合併に伴い、ソフトテニスのスポーツ少年団が、設立される事となり、その説明会が開催されたにも関わらず、参加者は十人にも満たず（対象となる家庭は何世帯なのかは知りませんが）こんなことで設立になるのだろうか、とても不安を感じました。

テニス愛好者としては、この頃とても気になる事があります。それは、小学校合併に伴い、ソフトテニスのスポーツ少年団が、設立される事となり、その説明会が開催されたにも関わらず、参加者は十人にも満たず（対象となる家庭は何世帯なのかは知りませんが）こんなことで設立になるのだろうか、とても不安を感じました。

子供さんの為には、どうするのが一番よいのか、子供さんはどうしたいのかを、今一度みつめ直してみたいかが、町民運動会はどうなるのか、運動場の整備はどうするのだろうか、などいろいろ不安を感じています。母校が忘れられてしまうのは、とても寂しいものです。何とか地域住民が利用できる施設として、残していただけたらと思います。まだまだ先の事だと考えず、早目に話し合いの機会を持たれ、地域の皆さんの意見を聞かれたらと思います。勝手な事ばかり書かせていただきましたが、一人の町民として、江府町が住みよい町として、時を重ねていける様にと心から願っています。

あとがき

▽今地球上では、自然環境の大きな変化が起こっており、我が町でも松の木の大半が枯れ環境が著しくそこなわれており一面では大陸からの酸性雨の影響とも思われます。自然保護のため今年には北海道の洞爺湖で環境サミットが開催されます。▽世界の人々が力を合わせて自然を大切にしなければなりません。▽6月定例会も無事終了しました。

依然として厳しい財政状況ですが、行政と議会と町民の方々と一緒に進んでまいります。▽私達の任期も残り少なくなりましたが皆さんの幸せのため一生懸命頑張ります。

池田 成弘

議会広報調査特別委員会

委員長 越峠恵美子
副委員長 川上 富夫

委員 上原 二郎

委員 日野尾 優

委員 池田 成弘